

神奈川・茅ヶ崎市

東京・青梅市 (株)彩の榊、サカキ生産に挑戦



サカキを持つ佐藤社長(左)と従業員の大西健文さん

【東京】青梅市の(株)彩の榊(佐藤幸次社長、34歳)は、サカキの生産に向けて6月に

市内で初めて一般法人として約30㍊の農地の利用権設定を受けた。佐藤社長は以前、両親が営む生花店に勤めており、サカキも扱っていたが、95%以上は中国産だった。顧客と話す中で、日本の

出身地の埼玉県飯能市の里山で、自生している大量のサカキを見つけ、所有者に何度も掛け合い、採取する許可を得た。

2011年には(株)彩の榊を設立し、国産サカキは神社や地鎮祭、神道葬儀などで重宝されていることから、売れ行きは好調だ。その高い需要を受け、今度はサカキの生産に挑戦する。

佐藤社長は「地域の人と

産課窓口、公民館などの公
共施設で配布している。

議(田中一広会長)は5月
26日から28日にかけて、第

都宮市内で開き、会員や企
業、県、関係者ら約70人が
参加した一写真。

利益を分かち合いた
い」と、近隣の人をア
ルバイトとして積極的
に雇用し、障がい者や養護
学校の生徒に、苗作りなど

の仕事を委託している。
「サカキを通して日本の
伝統を大切にしながら、社
会貢献につなげたい」とこ
れから先を見据えている。

田中会長は冒頭、「他の
バロッシュは豚の品評
会で、今年度は会員から去
勢豚(バロー)と雌豚がペ
アで計56頭出品された。

茨城県農業会議

国会議員へ要請



【茨城】県農業会議(葉
梨衛会長)は5月30日、県
選出国会議員に対する要請
集会を東京都の参議院議員
会館で行った。

安全・安心は確保されるか
など、農業・農村現場は大
変な不安である」と述べ、
「要請内容の実現に向けて
最大限の力添えをお願いし
たい」とあいさつした。

また、原発事故による農
畜産物の風評被害の払拭
に向けた支援のほか、TP

高崎市 海部 真樹さん

そよがぜ

▷35◁

菜作りを 農薬栽培 値大切に



真樹さん
(今年初挑
戦のナスの
ハウスで)
るなどでき
る範囲で減
農薬を心が

すいかまつり
16日開催
千葉・富里市